

令和2年度第2回港区消防団運営委員会

【議事録】

1. 開催方法

令和2年度第2回港区消防団運営委員会は、新型コロナウイルス感染症及び緊急事態宣言下の状況を考慮し、書面開催としました。

2. 書面開催日

令和3年3月15日（月）

3. 報告

消防団員に対する水災に関するアンケートの結果について【資料3】

令和2年度第1回港区消防団運営委員会にて了承された消防団員に対する水災に関するアンケートの結果を報告します。

4. 審議事項

令和2年度諮問「水災時において消防団が効果的に活動する方策はいかにあるべきか」についての答申案の提示、審議【資料2】

答申案に関する意見について

意見1：避難所運営支援について（横尾委員）

「新型コロナウイルス感染症に対応した避難所運営に関する研修会や訓練等の活動もあった方が良かったと思いました。」

回答1（事務局）

「ご意見のとおり、新型コロナウイルス感染症に対する感染拡大防止対策は、各種活動を実施していく上で最優先課題と認識しております。今後も引き続き消防団員の感染防止に最大限配慮してまいります。」

なお、ご意見を踏まえて、答申案、第3、4避難所運営支援についての9行目「消防署隊と連携し避難誘導等、あるいは」の文言を削除し、同10行目「及び避難所運営に関する研修会や訓練等の必要性について」の文言を追加しました。

意見2：分団施設の整備状況について（杉本委員）

「消防団施設について、待機スペースについては分団員からも直接要望を受けている。今後、待機スペースについては計画的に拡充に努めて頂くよう、検討を進めていくべきと考える。」

回答2（事務局）

「ご意見のとおり、消防団施設における待機スペース確保の重要性は十分認識しております。また、本委員会でのアンケートにおいて消防団員から要望が寄せられていることから、当該待機スペースの確保・拡充に関して、計画的かつスピード感を持って対応していきたいと考えております。」

意見3：分団施設の整備状況について（杉本委員）

「災害情報は、欠かすことができないツールである。通信環境整備については是非とも早期に整えるべきと考える。」

回答3（事務局）

「ご意見のとおり、災害情報は以後の災害現場活動に多大な影響を及ぼす必要不可欠なツールであり、それらの情報の迅速な収集を可能とするための通信環境整備について、早期実現を目指して、鋭意取り組んでいきたいと考えております。」

意見4：答申案全般に関して（伊関委員）

「時代の変遷と共にあらゆる事に変化が求められていると思います。無駄のない活動体制にせよ、装備資機材等のIT化にせよ、必要であると思います。女性団員の増加傾向は歓迎すべきであり、その要望にもこたえていかなくてはと考えます。実際に活動する団員からの生の声を無にすることなく、あらゆる方面での整備がなされる事を希望します。」

回答4（事務局）

「ご意見のとおり、無駄のない活動体制、装備資機材のIT化等に前向きに検討して参ります。また、女性消防団員が増加するなか、今後とも社会の変化を勘案しつつ各種整備に取り組んで参りたいと考えております。」

意見5：分団施設の整備状況について（熊田委員）

「待機時間が長いという課題については、消防団の45施設のうち待機室のある施設が9施設と非常に少ない。スペースの問題などもあり、すぐに改善することは難しいかもしれませんが、消防団の方の活動を支える上からも、待機室の設置などの改善に取り組んで頂きたい。」

回答5（事務局）

「ご意見のとおり、水災時は基本的に待機時間を含め長時間の活動を余儀なくされる場合が多々想定される場所であり、消防団員の活動前後の休憩、休養のための待機室等のスペース確保に向けて、用地確保の推進等、積極的に対応していきたいと考えております。」

意見6：水災時教育の充実について（熊田委員）

「アンケートからも水災害に従事したことがないと回答した団員が半数以上いることから、訓練の必要性があると思います。具体的な訓練計画を作って頂きたい。」

回答6（事務局）

「水災を含め災害活動の経験に乏しいことは、消防団員にとっては不安要素として大いに影響する問題であり、当該、不安感の払拭及び消防団員の安全確保のために、基礎的な知識、技術の習得から実践的な活動まで、段階を踏んだ訓練の実施に努めてまいります。」

意見7：分団施設の整備状況について（熊田委員）

「女性消防団員の方から出されている要望については、今後多くの女性団員の参加が求められると思います。女性団員に参加していただく上でも、女性トイレ、更衣室、仮眠スペース等の整備を急いで頂きたいと思います。」

回答7（事務局）

「女性消防団員の入団促進に取り組んでいる中において、本委員会でのアンケート結果を受けて、女性トイレ、更衣室、仮眠スペースの整備等、喫緊の課題として認識するとともに、迅速な対応について関係部署と連携を図ってまいります。」

意見8：新型コロナウイルス感染症対策及び水災時教育の充実について（熊田委員）

「感染対策について、これからも感染対策は必要になると思います。災害時は困難な環境の中での対応が想定されます。感染症対策について、計画的な整備に加え、団員への研修（学習）なども力を入れて頂きたいと思います。」

回答8（事務局）

「新型コロナウイルス感染症対策が課題となっている現状において、災害時という非常時での感染症対策は、より対応困難な状況も想定されることから、研修及び訓練の実施、さらに感染症予防資器材を計画的に整備して参りたいと考えております。」

5. 今後の審議日程について

上記意見を踏まえ本答申案を再度見直し、次回の港区消防団運営委員会（6月下旬開催予定）にて最終的な答申案を決定します。